

# 江府町報

第175号

発行者  
鳥取県江府町  
電話江尾代5-2211  
編集 総務課  
印刷 (有)富士印刷

## 江府町の人口 (9月30日現在)

世帯数	1,304世帯
人口	5,051人
(前月比)	9人増
(男)	2,435
(女)	2,616
出生	6
(男)	2
(女)	4
転入	14
(男)	7
(女)	7
転出	7
(男)	2
(女)	5
死亡	4
(男)	3
(女)	1

## ホウレン草で転作活路

町内のたんぼのあちらこちらで大きな半円形の白いビニールハウスが目につくようになりました。

六年前から声の高まった米の生産調整農家にとっては頭の痛いところ。しかし、その減収分は「雨よけホウレン草で」と四年前から町農協の指導で、町内四戸の農家が、ホウレン草栽培に乗り出したのです。現在三〇戸が行っています。

尾上原の藤原澄子さんもその一人。

「ホウレン草栽培は、温度と排水がポイントとあって、とくに今年は夏の高温と長雨に気がつかれました。また、間引き作業も大変です」と収穫するまでの管理のむつかしさを話しておられました。

今年も出荷があと少しとなりましたが総出荷量は、夏の高温と長雨のため、昨年の三九、七〇キログラムより下回りそうです。

▲ビニールハウスで雨よけホウレン草の収穫



# まちづくり

## 事あれこれ

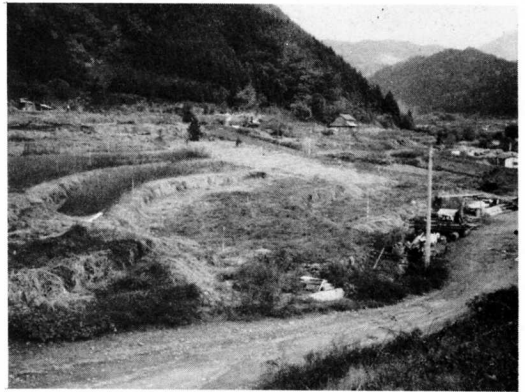
# きわたるツチ音

### ●農村基盤総合整備事業

### 木地原農道を新設

昭和五十二年度から進められている俣野地区農村基盤総合整備事業は、当初三億二千万円の総事業費でありましたが、現在では三億八千六百万円と私たちの町では、かつてない大事業となっています。

これは、山間地のために大規模な基盤整備ができない地域を対象に、ほ場整備や農業用排水路など基盤整備を進め、農業経営の生産性を高めるとともに、豊かで住みよい農

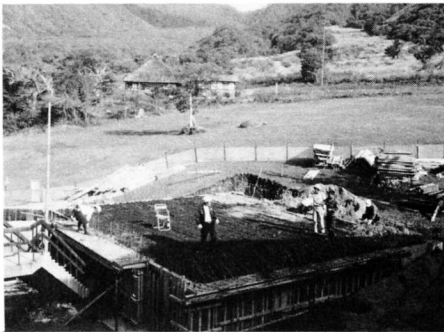


▲基盤整備がはじまった西ケ市団地

村をつくることを目的としています。今年度は、西ケ市団地ほ場整備が総事業費一、三〇〇万円で一・二歩行われています。また、木地原農道新設工事が、総事業費二、〇〇〇万円で二〇〇歩を計画しています。

### ●甘酒茶屋スキーハウス建設

大平原甘酒茶屋の裏に、貸しスキーハウスハウスの建設工事が急ピッチで進められています。建物は、鉄骨平屋建て一五平方メートルの規模、総工事費二、一〇〇万円で十二月中旬完成予定です。完成しますと、スキーシーズンに貸しスキー場として活用されます。



▶急ピッチで進められる

貸しスキーハウス

### \*9月

## 町長日誌

- 1日(木) 庁内会
- 2日(金) 郡共済組合理事会
- 3日(土) 荒田集会所起工式
- 4日(日) 町民野球大会、ママさん自転車県大会(倉吉)
- 5日(月) 民生委員推せん会、町内バス路線協議会、碎石事業協議
- 6日(火) 甘酒茶屋運営委員会
- 7日(水) 消防施設入札、池の内役員来庁
- 8日(木) 中国横断道促進陳情(広島)
- 9日(金) 伯備線電化協議会総会(松江市)
- 10日(土) 郡町職員運動会(江府町)
- 11日(日) 中学校運動会
- 12日(月) 九月定例町議会
- 13日(火) 町村長会(米子)
- 14日(水) 池の内・江尾・武庫・新道地区敬老会
- 15日(木) 西ノ島町表敬訪問
- 16日(金) 各小学校運動会
- 17日(土) 県農林水産部次長来庁
- 18日(日) 柿原地区簡易水道起工式、企画事業入札
- 19日(月) 俣野役員来庁、町国体実行委員会総会
- 20日(火) 一旦集会所起工式
- 21日(水) 日野郡振興局協議会
- 22日(木) 第一共同簡易水道奉祭式
- 23日(金) 武庫役員、新六井手役員来庁在勤
- 24日(土) 郡農林振興協議会
- 25日(日) 佐伯教育委員辞令交付

# 明るい 建設工 ひび

▶完成真に近い貝田下団地ほ場整備



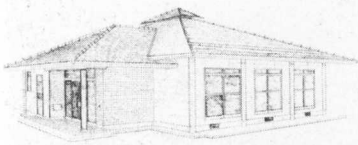
## ・貝田地区では場整備

農業機械の入らない水田やまがりくねった細長い水田を区画整理し、農作業の機械化を進め労力を省力化しようと、町内の平野部や山間地の谷間で、ほ場整備事業が進められています。

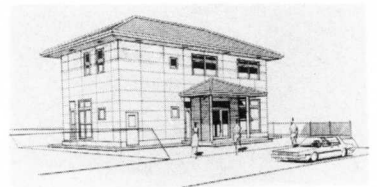
貝田地区では、地区再編農業構造改善事業で貝田下団地、総事業費六、八〇〇万円で七・五畝。貝田唐舟団地、総事業費二、七〇〇万円で二・七畝の基盤整備が進められています。また、地域改善対策事業で舟谷地区が総事業費五、四六二万円で三・八畝を整備しています。

## ・充実します集会施設

昭和五十五年度から計画に基



一旦集会所の完成予想図  
鉄骨平屋建  
面積 164.08㎡  
事業費 28.546千円



荒田集会所の完成予想図  
鉄骨2階建  
面積 202.05㎡  
事業費 34.643千円

## ・万一の火災に備え

### 江尾地区に防火水槽

万一の火災に備え、初期消火ができるようにと江尾地区（新町一丁目役場上）で防火水槽新設工事が進められています。

この防火水槽は、消防施設整備事業のひとつとして計画に基づいて行っているものです。貯水槽は、四〇立方メートル。有蓋で三八〇万円です。



郵便局だより

## 米寿者に記念品

郵政省では、敬老の日になみな米寿（88歳）を迎えられたみなさんに記念品を贈っていますが、今年も江府町では次のみなさんに郵政大臣から贈られました。

- 松尾真吉（江尾） 住田米太郎（江尾）
- 藤原熙美（池の内） 福岡しなよ（日の詰）
- 松本榮作（宮市原） 梅田幸治（下蚊屋）
- 小椋和歌枝（下蚊屋） 川上与吉（御机）
- 千藤のゑ（袋原） 新見まつ（吉原）
- 中村榮蔵（下安井） 久木千代（下安井）
- 浦部弥四郎（洲河崎）

## みなさんの暮しと

### ともに郵便貯金

郵政省では、郵便貯金の働きを広くみなさんに理解してもらうために十月一日から「豊かな暮らしと住みよい社会をつくる郵便貯金月間」を実施しています。

郵便貯金は、明治八年の創業以来百有余年にわたり最も身近な貯蓄手段として、みなさんに親しまれ、ご利用されています。お預りしたお金は、住民の建設、学校、研修センターの建設、道路、公園の整備拡充などに役立っています。

一層のご協力をお願いします。

江尾郵便局

▶米原分校の概要説明を聞く児童たち



# 米原分校建設中

## 一億三千万円で完成

大河原地区にことし四月一日統合しました米原分校の建設工事が急ピッチで行われています。

新しくできる校舎は、鉄骨平屋建てで二つの普通教室をはじめ音楽室、理科室、保健室などを備えた二九一平方メートルの近代的な建物です。また、体育館も三八二平方メートルで、バレーコート一面、ろくぼくなどが設備されます。総工事費一億三千万円で、完成は十二月下旬の予定です。

十二人の児童が首を長くして待っている米原分校。完成まであとひと息です。

### 新しい分校

四年 砂口二葉

わたしは、新しい分校に入りたいです。新しい分校は教室とかがきれいだし、三、四年と一、二年の教室とはべつに音楽室、理科室ほけん室、しよく員室など、今の分校よりもたくさん教室があります。

とくに体育館は、天井が高し、広いので、バレーもできるし、ボールも投げられて雨ふりでもいろいろな運動が出来るからいいです。

校庭もとても広いからおもいきりボールが投げられます。

今の校庭では、ボールをあまり遠くへ投げるとなくなってしまうつたりします。だからおもいきりボールが投げられません。

だからわたしは、新しい分校が早く出きるいいと思います。新しい分校に早く入りた

### 新しい分校に

早く入りたいなあ

四年 神庭 良

新しい米原分校に早く入りたいと思っています。

それは、新しくきれいだし前の分校のように冬になってもまだから雪が入らないようにサッシにしてあるからです。

それから体育館が広いから雨のふつた日でもドッチボールができるしなわとびでも広々できるからです。

外で遊んでものびのびと遊べるし広いから野球をしてもなかなかボールがなくならないからです。

理科室があるから実験がすぐできるし広い音楽室もあるからみんな音楽ができると思います。

それから保健室もあってけがの手当てがよくできるし体重測定もすぐできるようになります。

分校を作ってくださいるおにいきんやおじさんおばさんたち分校のできるのを楽しみにしています。

新しい学校に入ったら大事にしてそうじをいっしょうけんめいしていつまでも大事に使いたいです。



# おめでとう

## 三好さん

### 勲五等雙光旭日章に輝く

秋の叙勲で三好恭祐さん（洲河崎）が長い間地方自治の発展に寄与された功績が認められ、勲5等雙光旭日



章を受けられました。

三好さんは、昭和28年から7期28年にわたり町議会議員として地域振興の発展につくされました。その間、議長、副議長を歴任、昭和42年から15年間町森林組合長としても活躍されました。

三好さんは「皆さんに支えられて長い間やらせていただいただけです。地方自治といえば難しく聞こえますが、要するに郷土を愛しみみんなで協力しあって住みよくしていくことではないでしょうか」と受章のよろこびを話しておられました。

## 藤原さん

### 農林水産大臣表彰を受章

このほど藤原幸雄さん（大河原）に農林水産大臣から感謝状が贈られました。



これは、藤原さんが、永年にわたり農林業や水産業の統計業務に協力してこられた功績が認められて受賞されたものです。

県下の受賞者は、特別協力者4人と永年協力者41人です。

## 柿原入口に ロードステーションが完成

▶完成したロードステーション



柿原入口のバス停に、ちょっと見えない建物がお目見えしました。

これは、ロードステーションという自転車置き場もかねたバス停留所で、根雨土木出張所が二五〇万円（町負担二二万円）で建設したものです。

ロードステーションは、集落がバス停から離れている地域にバス停まで自転車から来る人が安心して置くことができるようにと建設されたもので、特に中学生・高校生は大助かりです。町内には、池の内、武庫の三か所に設置されています。

## 実りの秋を楽しむ 子供の国保育園

子供の国保育園では、園児を自然に触れさせ収穫の喜びを味



▲歓声をあげてサツマイモ掘りをする園児たち

わせようと毎年サツマイモ掘りを行っています。今年も秋晴れの十月二十日行いました。土からひょっこり顔を出した

▶上之段広場で配備式



## 初期消火に威力 小型ポンプを配備

町では、総合計画に基づいて手押し式小型動力ポンプを各地区に配備していますが、今年度は、大河原、西成、助沢の三地区に配備しました。

配備されたポンプは、最高出力四十三馬力、放水量一分間に約一トで一、〇七四千円。今後地域内火災の初期消火に威力を発揮します。

大きなサツマイモやかわつた形をしたサツマイモに大歓声をあげ、楽しい一日を過ごしました。

# 点検は防火のはじまり しめくくり

## 秋の全国火災予防運動

11月26日～12月2日



十一月二十六日(土)から十二月二日(金)までは「秋の全国火災予防運動」の期間です。ことしは「点検は防火のはじまり しめくくり」を統一標語に一週間、火災予防運動が行われます。年末を控え、なにかとあわただしく、ストーブなど火の気を使う機会も多くなります。気持ちを引きしめましょう。

### 寝ている間も「火の用心」 火災警報器を備えましょう

火災による死亡  
四〇%が「逃げ遅れ」

昭和五十七年中の火災は全国で約六万件。時間にすれば、ほぼ九分に一件の割合で起こっています。

火災による死亡者は約二千人。

一日当たり五人の命が奪われたことになりました。

死に至った経過には「逃げ道を間違えた」「服に火がついた」など、避難中や消火活動中の事故もあります。しかし、一番多いのは「逃げ遅れ」です。死亡した人の四〇%は避難の形跡がなく、①火災にまったく気づかなかつた ②気づいたときには逃げ道がなかった—これらが原因で命を落としたと思われるです。

#### 死傷事故が多いのは 午前一時～四時

火災からの「逃げ遅れ」を防ぐには、発生を早め知ることです。しかし、火災はわたした

ちが目覚めているときばかり起こるとは限りません。実際、焼死事故が多いのは寝ている間の午前一時から明け方の四時にかけてです。

火災の発生をすばやく知らせる、また、寝ている間の「見張り番」——「火災警報器」をあなたのお宅に備えてはいかがですか。

#### 取り付けが手軽な 簡易型火災警報器

「火災警報器」というと、ビルなどに備え付けられている大がかりなものを連想するかも知れません。しかし、ここで言っているのは「簡易型」です。電気やゼンマイを動力源として、火災の発生をブザーなどで知らせるものです。

「簡易型火災警報器」は、火災が発生したとき①熱を感じて

#### 消火器や警報器で 防火対策の充実を

あなたのお宅には、消火器がありませんか。ガス漏れ警報器や火災警報器が、備わっていますか。

火の始末に十分注意を払っていると思っても、見落としはあります。火災から身を守る



警報するタイプ ③煙を感じて警報するタイプとがあります。煙や水蒸気が発生しやすい台所やガレージなどには①の熱式を、階段の天井などには②の煙式を、それぞれの特長に応じて使い分けると効果的です。どちらも手軽に取り付けられます。なお、価格は七千円から一万五千円ぐらい。電気屋さんにあります。

ための用心をするにこしたことはありません。火の使用に注意するばかりでなく、消火器や警報器などを備え、防火対策を充実させましょう。

きちんとした火の始末、火災警報器、消火器……といった二重、三重の火災に対する備えがわたしたちに安全を保証してくれるのです。

国民年金

おたずねに答えて

お尋ねします

近く会社をやめる予定ですが厚生年金の老齢年金を受けるには期間がたしません。国民年金に加入したいのですが、どのような手続きをすればよいでしょうか。

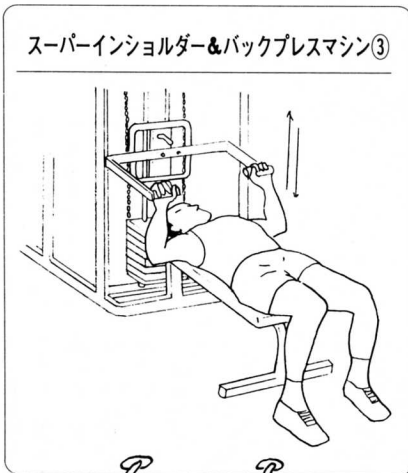
お答えします

日本国内に住所を有する20歳以上60歳未満の日本国民は、会社などに勤めてそこでの公的年金制度の被保険者となる人以外はすべて国民年金に加入しなければなりません。つまり、国民はすべてなんらかの年金制度に加入しなければ

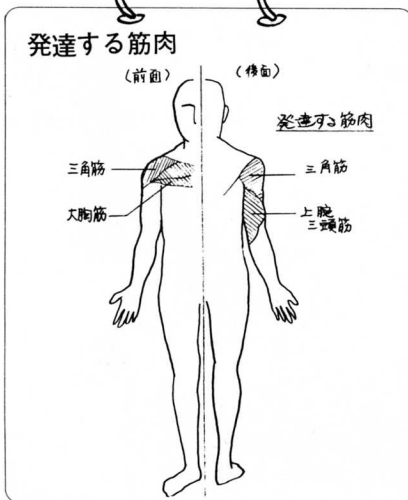
ならないというきまりがあり、こういう人を「当然加入被保険者」といいます（被用者年金制度の加入者の配偶者や、すでに年金の支給を受けることのできる人は除きます）。

おたずねの国民年金の加入手続きですが、その資格を取得した日、つまり、会社を退職して厚生年金の被保険者でなくなった日から14日以内に「国民年金被保険者の資格取得の届書」を、居住している市区役所、町村役場の国民年金の窓口提出しなければなりません。

年金手帳を所持している組合はそれを添付することが必要です。ここで大切なことは、自分で手続きをするということ、黙っていても自動的に国民年金の被保険者になるというものではないということです。



スーパーインソール&バックプレスマシン③



発達する筋肉

(前面) (後面)

ジョギング考

最近の運動ブームを反映して、ジョギングを始める人が多くなりました。体重計の目盛を一見みてびっくり、「さっそく、明日からジョギングで肥満解消」などというような姿勢は、あまり好ま

しい事ではありません。このような人達に、ジョギングで膝を痛める人が多くなっています。膝の痛みは、関節の中にある軟骨の炎症や損傷、また関節周囲の「すじ」の炎症などさまざまな原因によって起ります。この軟骨は、若い時は再生能

力が旺盛なため傷ついてもすぐ回復しますが、年齢と共にだんだん再生能力が落ちてきます。ふだん、あまり運動をやっていない人か、急に急激な負担を関節に加えれば軟骨に傷害が起り、膝の痛みをうったえると言わう事が良くあります。体重が重い人の場合は、さらに痛みはひどくなります。本来、ジョギングに肥満の治療を期待するのはまちがいであり、ジョギングはあくまでも予防の手段なのです。

**11月の行事予定**

十三日 岡本旗、白石杯テニス大会  
二十日 町内PTAバレーボール大会

お断わり  
今年度のナイターは、十一月十日をもって終了致します。

スポーツ公園だより

ほんとうに、ジョギングを楽しもうとすれば、水泳などのような全身運動できちんと減量し、大腿部の筋肉を鍛えてから走り始めるのが望ましいと言えます。(体育館のトレーニングジムで全身運動が可能です)

ありがとう

うざいました

以上、社会福祉事業にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。 江府町社会福祉協議会

善意銀行受払報告

- 九月中寄託分
- 香典返しとして
- 大河原 安田佳正殿 (父一雄様ご逝去)
  - 杉谷 片山三鈴殿 (夫俊吾様ご逝去)
  - 貝田 岡田康弘殿 (父惠輝様ご逝去)
- 内祝として
- 久連 関内 勝殿 (ご本人様退院)
  - 日詰 福岡彦四郎殿 (ご本人様退院)
  - 柿原 加藤和知殿 (ご本人様退院)
  - 吉原 松原陽子殿 (ご本人様退院)
  - 御机 伊達磯美殿 (ご本人様退院)
  - 御机 川上きみ代殿 (ご本人様退院)

- 1. 八月末累計額 百六十二万二千七百七十六円
- 2. 九月中寄付額 二十九万三千元
- 内 訳
  - 香典返し 十二万円
  - 快気祝 十七万三千元
  - 3. 支出額
  - 需用費 一万六千八百円
  - 4. 九月末累計額 百八十九万八千九百七十六円

人の動き

- 本一 堀田一文殿 (ご本人様退院)
- 吉原 砂口 毅殿 (二男直人様退院)
- 久連 関内博子殿 (ご本人様退院)
- 新一 伊藤球實殿 (ご本人様退院)
- 新二 福田和夫殿 (ご本人様退院)
- 佐川 坂本かねよ殿 (ご本人様退院)
- 本三 井上マスエ殿 (ご本人様退院)
- 本二 中川正春殿 (長男孝彦様退院)

- お誕生おめでとう
- (九月届)
- 新道 田枝 由起 定良 長女
  - 佐川 前田 知美 修一 三女
  - 助沢 北村 愛 仁巳 二女
  - 江尾 本高 雄一 良三 長男
  - 荒田 阿部 綾佳 朝親 二女
  - 久連 遠藤 真吾 敏彦 長男

- 結婚を祝します
- (九月届)
- お祝い福を祈ります
- 松部 有承 兵庫県西宮市
  - 松本 美津子 江尾から
  - 杉谷 片山 俊吾 42歳 三鈴宅
  - 貝田 森田 正三 76歳 地男宅
  - 貝田 岡田 惠輝 66歳 康弘宅
  - 柿原 清水 しづ子 68歳 守衛宅

ふるさと地名考 10

反導寺(はんどうじ)

大河原

かつての大山寺領の刑場跡で、堂があったと伝えられる。堂の名が反導寺であったのかも知れないが、はっきりしない。いまは塩かき地蔵が祀られ、水汲み場となっている。

須郷(すごう)

大河原

須郷・須川・菅生などの地名は全国に九〇か所余り散在している。鳥取県内にも約一〇か所見える。語源は「比較的小さな谷」の意味である。

鍵掛(かぎかけ)峠

大河原

香川県小豆島の「寒霞溪」は、むかし応神天皇が難所の岩にカギをかけて登山したという伝説から「カギカケ」といわれたのが、のちに神懸となり、明治になって「寒霞溪」に佳字化されたものである。鍵掛峠も、むかし作州から

伊賀間(いがま)

大河原

「伊賀間」は忍者屋敷跡を思わせる。しかし、「イガ」は山越え、陸を越す、「間」は船のとまる所、港などの意である。そうすると「いがま」は、山越えをして下った所の小地域をさす語となる。大河原の「いがま」も、御机から山越えで大河原へ下ったところにある。